Since 1946

# 學 校 通 訊

1月号　第174号　2018年1月25日出版

## 東京横濱大阪三僑校回國參訪致敬團

-晉見陳副總統-　（2017.12.26）

發 行 處　學校法人 大阪中華學校
〒 556-0012　大阪市浪速区敷津東一丁目八の十三
TEL：(06) 6649-6849（教職員室）・6649-3655（校長室）FAX： 6649-3654
【網頁URL】http://www.ocs.ed.jp/　【E-mail】ocs@ocs.ed.jp

# 學 校 行 事

一月

1 月 15 日　週會、寒假讀書心得報告
1 月 27 日　教學參觀、 學生作品展　中國語班
1 月 29 日　中二台灣修學旅行(1/29~2/1)

二月

2 月 5 日　週會(班級模範生發表)
2 月 11 日　日本建國紀念日
2 月 12 日　日本建國紀念日　補假
2 月 15 日　中國農曆除夕(照常上課)
2 月 16 日　中國農曆新年　休假
2 月 18 日　2018 在阪華僑春節祭
2 月 19 日　中國農曆新年　補假
2 月 28 日　第三學期期末大考(2/28~3/2)　下午停課

三月

3 月 10 日　中國語班發表會
3 月 17 日　畢業典禮(小五、中二出席)
3 月 23 日　第三學期結業典禮

## ◆義捐消息◆

1.七十週年紀念刊寄付名單(收錄至 1 月 23 日為止，順不同)

| | |
|---|---|
| 今泉勝雄先生 50,000 円 | 坂本　勇先生 10,000 円 |
| 陳 天 隆先生 50,000 円 | 林 子 棟先生 10,000 円 |
| 彭作進、英峰先生 15,000 円 | 菅 幸 枝女士 10,000 円 |
| 鈴木　哲先生 10,000 円 | 張 佑 丞先生 2,000 円 |

2.家長會贈送中二修學旅行贊助金　30,000 円

在此深表感謝

# 學 校 消 息

大阪中華總會訂於 2 月 18 日在本校舉辦「2018 在阪華僑春節祭」，有本校同學表演舞獅、民族舞蹈及國樂表演，並設有許多點心小吃攤位及抽獎活動，歡迎各界撥冗參加，共襄盛舉。

# 恭賀新禧戊歲臻福

大阪中華學校 敬賀

## 2018 戊戌年新春團拜 (2018.1.9)

# 幼稚班作品－過新年

張浩正

大澤美佳

野網凜成

米田陽紀

長尾宗醍

此次由本校主辦之東京橫濱大阪在日三僑校合組返國致敬團回台拜訪團一行 40 名，於去年 12 月 25 至 28 日返國拜會、參訪相關政府機關及文教設施，除瞭解國內現行體制及僑生回國升學新制，以便鼓勵三僑校畢業學生回國升學外，並促進三僑校理事與教師間之交流機會，活動圓滿順利。

拜會僑委會

參觀台中市健民國小

參觀台中市安君兒三語幼稚園

參觀台中市國家歌劇院

參觀台中市東大附小

連理事長主祭獻花

參觀忠烈祠衛兵交接

日月潭合影

# 2017 年度成果發表會 (2017.12.16)

# 106 學年度 中學球類比賽 (2018.1.9)

定點投籃個人賽

女子組鬥牛團體賽

男子組鬥牛團體賽

## 106 學年度全校日文作文比賽 (2018.1.9)

小學低年級組

小學高年級組

小學中年級組

中學組

＜日語作文コンテスト＞ 全校日文作文比賽

## 小学部低学年組一位

わたしのたからもの 小一 吉田朱璃

わたしのたからものは、おねえちゃんです。なぜかというと、やさしくていっしょにがっこうにいってくれるからです。

いっしょにべんきょうしたらふたりでテストします。一人でかえるときはさみしいけど、いくときはうれしいです。

ケンカするときもあるけど、すぐになかなおりをします。

しゅくだいやべんきょうがおわったら、こうえんやおもちゃであそびます。

いちばんおねえちゃんが大好きです。おねえちゃんはいちばんのきょうだいです。

きょうだいでいちばんのしんゆうです。

おねえちゃんは、わたしがしゅくだいしてるとちゅうにねたら、おこしてくれます。

おねえちゃんとわたしは、たまにおそろいのふくをきます。

おねえちゃんのともだちや、誰かきたらいっつもなかよしです。わたしのしゅくだいがわからないときは、おねえちゃんにききます。

おねえちゃんがいちばん大大大大大大好きです。なぜかというとやさしくて、こうえんであそぶしブランコでおしあったりします。おねえちゃんがいちばん大好きです。

## 小学部中学年組一位

友だちから学んだこと 小四 阪本心澄萌

私には、大切な友だちが沢山います。なので、沢山の欠点も見つけられます。でも、私のこの「今」も友達から学んだ色々な事を大事に思っています。

たとてば、私のクラスの友だちには、私に色んな知識や不思議な事を話してくれる子もいます。その話はたまに、べん強に役立つ時もあります。他には、こんな子も。私がブランコで遊んだ時、少し手をはなして遊ぼうとしていたら、友達が

「危ないから、そんな事しないでね。」

私は、そんなやさしい友達が、せっかく注意してくれたのに、ちっとも聞かずに遊び続けたら、手がすべって思いっきり地面にぶつかりました。私は、「もしもあ

の時、友達の話を聞いてたら良かったのにな。」と、後悔しました。

でも、もっとも友達から学んだことは、「友達の大切さ」です。その子は、私と幼なじみの子です。彼女と私は、いつも仲良しでした。でも、ある日私はその子とけんかをしてしまいました。最初は、彼女が悪いと思っていました。なので、私はもう彼女とは遊ばないと決めました。そう決めて数分、私はしばらく家でごろごろしてました。どう考えても、あの子が悪いと思いながら、私は、あの子の欠点ばかりを見ていました。そう考えながら出来事をふりかえると、友達が急におこりだしたのが原因だ。でも、あんなにやさしい友達がどうして？私は、もう一度頭の中をさぐった。はっ！思い出したのだ。元は、私が友達にわがままを言ったのがけんかの元だと。私は、自分が悪いと知ったしゅん間、家をとび出して歩いて 10 秒程でつく友達の家へ行こうとしたのだが・・・。ドアを開けようとした時、私の心にはなぜか、はずかしい気持ちがこみ上げてきた。まだ幼かった私に、あやまるという事は、とても勇気のいる事だったのだ。結局、私は家でテレビを見る事にした。私たちもいつの間にか仲良しになってた。でも、これは、あのけんかが解決した事にはならないと、私は思います。

友達から学んだ事は私の色んな事に役立っています。それに、年れいによって人を見る角度や考え方も違ってきます。なので今の私にとってあやまると言う事は当たり前で放ってはいけないと思います。私にとって友達は、心の支えです。一人では、乗りこえれない壁もありますが、友達とならどんな困難でも、乗りこえられる。そんな気がします。これからも、私は、友達から沢山大切な事を学ぶと思います。友達には、とても感謝しています。

## 小学部高学年組一位

### 将来の夢　　小六　蒋　惟

「将来の夢」と聞いて、まだ私が小さかった頃のことを思い出しました。友達は、ケーキ屋さんになりたい。とか、ヒーローになりたい。とか、いろんな夢を持っていました。小学校高学年になり、友達の夢、私の夢もだんだん変わってきました。

ある日、国語の授業で、先生が、将来の夢がある人は、教えてくれませんか。と、聞いてきました。何人かが手をあげて、教えてくれました。ある子は、サッカー選手になりたい。と言ってたり、ある子は漫画家になりたい。と言ってたり、みんな様々な夢を持っていました。私の夢は、「学校の先生」になることです。

私が、学校の先生になりたいと思い始めたのは、小学校中学年の頃です。私の父と母は、学校の先生で、私が小さい時から毎日忙しく、頑張って仕事をしている姿を見てきました。今でも、父と母は、毎日おそくまで、仕事をして、帰っても、まだ終わっていない仕事をしたり、家のことをしたりして、とても忙しいです。学校の先生は、私たちに勉強を教えてくれるだけでなく、他にもたくさんやらなければいけないことがあるはずです。なので、学校の先生ってすごいなあと思いました。

私たちにとって、学校の先生は、かかせない人達だと思います。学校の先生は、生徒一人一人に毎日向き合って、勉強以外にも、社会での話をしてくれたり、人間関係で大切なことを教えてくれたり、自分ではどうしようも出来ないことを解決してくれたり、だから、学校の先生ってすごいなあと思いました。

学校の先生は、たくさんの生徒たちに、いろんな大事な事を教えてくれる人です。なので、私も将来、こんな、たくさんの人達を教えるカッコイイ、学校の先生になりたいです。

## 中学部一位

最近のニュースで考えたこと　　中三　澤尾優心

グローバル社会の拡大化や科学技術の発展により、現代社会ではニュース及びメディアの規模も非常に大きなものとなっている。日本でもそのことは普段の生活の中で著しく現れている。新聞、テレビ、そしてスマートフォン。いつでもどこでも情報を手に入れることが可能な世の中であり、そのような世の中の情報を見たり聞いたりして思うことがいくつかある。

まず、先程述べたように、今の社会のグローバル化は猛スピードで進んでおり、それに伴い外国関係のニュースが増加しているように思える。日本と関係のあるアメリカや中国についてのニュースはもちろん、日本とは関係のほとんどないようにも感じられる国で起きた事件も毎日報道されていることから分かるだろう。

次に、ニュースの多種多様性だ。私の中で、特に目立っているのが、芸能ニュースである。芸人や歌手、最近では声優などテレビに出てくるような有名人と呼ばれる人たち。その人たちが何かを起こせばすぐに報道されていて、また、その数はとてつもなく多いのだ。中には重要なニュースもあるのだが、ほとんどの場合、「その情報は必要なのか？」と思うことが多い。メディアは、少しでも普段と違うことを発見するとすぐに報道したいと思うのだろう。

何故、少しのことでもニュースにするのかと考えると、結局はお金ということに

なってしまうのだろう、だがそのことは一度置いておくとし、情報が大量にあることで発生する問題について考えてみる。

まず、思いつくのは偽りの情報だ。すぐに食いついてしまうメディアは、誰かが流した噂でさえも報道してしまうかもしれない。特に、スマートフォンで簡単に知ることができるようなニュースは事実とは異なることが、たくさん隠れていると思うのだ。

他には、ニュースの表現方法。ニュースを作っている側も人間なので、同じニュースでも、作る側の感情が入っていて表現が違っていることもある。そのことでニュースを見る側が反発して、今度はそれを見た人が不快に思うかもしれない。ニュースの悪い連鎖とでも言うのだろうか。

実際、情報社会は入り乱れていて、問題を挙げていったとしても、それこそ枚挙にいとまがない。いくら注意したとしても騙されるときは騙されると思う。私は外国のニュースや芸能ニュースを最近のニュースの特徴として挙げてみた。そして、考えたことはやはり、グローバル社会の拡大化。日本国内では、メディアの危機を感じた。私たちもメディアをもう一度見直して日常のニュースの中で重要視するべき点を発見するべきなのだろう。

## 小一日文提早寫作－寒假趣事

董軒馨
タイ大皇宮

張媛淇

# 小一提早寫作－給潘老師的話

伊佐淳希

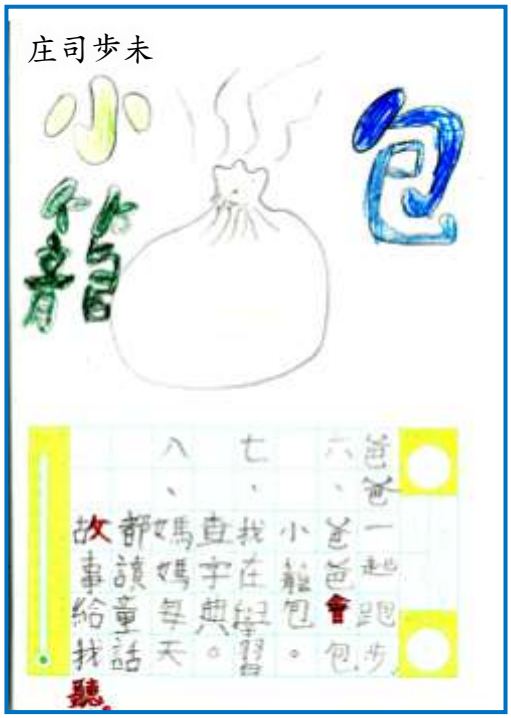
紀仲望朱

喬一神

古川弘毅

# 小一提早寫作－給潘老師的話

庄司步未




曹晃紘

張月琳

奧原蓉子

# 小二提早寫作

# 小二提早寫作

杉本清蓮

一谷優果

又吉盛介

湯　悠

# 寒假讀書心得報告

小三　陳律妍

書名：披鹿皮的郯子

作者：鄭昆

出版社：國語日報

出版日期：2010 年 3 月

大意：

周朝時，有位小叫郯子，家裡很窮，但是他很孝順。夏天時，他坐在床邊替父母趕蚊子，等夜深了，自己才肯去睡覺。有一年，母親生病了，他非常擔心，聽說鹿奶可以滋補身體，於是郯子跟獵人借鹿皮，假裝成小鹿，混在鹿群中擠鹿奶回去給母親喝。有一天，獵人射中了假扮成小鹿的郯子，獵人認出他是郯子，他把母親生病的事情告訴獵人，獵人聽了很感動，就把獵到的幾隻野兔送給郯子，要她帶回去煮給母親吃。

感想：

在故事中的郯子，因為母親生病，而假裝成小鹿，反而差一點讓自己受傷。從這件事情中，我學到了我們要孝順父母，也要注意自己的安全，要是發生意外，就不能照顧父母，也會讓父母擔心。

小四　東中天麒

書名：仙女的嘆息

作者：錢欣葆

出版社：秀威科技股份有限公司

出版日期：2015 年 2 月

大意：

有一隻狐狸原本就不聰明，但也沒壞心眼。有一天，狐狸遇見了仙女，請求仙女給他聰明和才智，仙女看了一眼，真是一隻既可愛又可憐的狐狸。於是仙女拿出一顆仙果給狐狸吃，狐狸自從吃了仙果，就表現出非凡的聰明才智，大家都誇他機靈能幹。

又有一天，巫婆見到狐狸，說道：「你光有聰明才智是不夠的，如果再有點兒貪婪就更了不起了。」狐狸自言自語的說：看來這貪婪一定也是好東西了。巫婆拿出一顆黑藥丸讓狐狸吃，狐狸吞下後覺得這藥丸真不錯，忙對著巫婆說：「你再給我一百粒，或者一千粒這種藥丸更好！」巫婆笑著說：「這藥丸一吃就靈，你剛吃完一粒，就貪婪起來了。」「好了，現在你既有才華又有貪婪，是世界上最了不起的動物了。」

從此，狐狸有了壞心眼，他騙烏鴉嘴裡的肉片吃，還把公雞騙出去吃了，又把鴨子咬死了。狐狸越來越貪得無厭，大家都恨透了他。仙女知道後，感嘆地說：「如果早知道狐狸會得到貪婪，當初我就不會給他聰明才智了，才智與貪婪結合，只能孕育出罪惡啊！」

心得：

我覺得做人要誠實善良，懂得知足和感恩。不要像狐狸一樣禁不起誘惑，貪得無厭，不但容易犯罪，也必將跌入萬劫不復的深淵。

小五　青木紗奈

書名：魔女的魔法僕貓

作者：安畫安子

大意：

有一隻貓咪叫可冬，牠希望當魔女的僕貓，因為僕貓身體的毛是要百分之一百全黑的，可是可冬的身體是百分七十五黑色，所以很多魔女不接受可冬當貓僕。為了尋找適合的魔女，可冬來到了僕貓介紹所，在那裡認識了魔女小絲後，小絲對可冬說：「身體的顏色一點都沒有關係，重要的是要認真做事，如果你想來我的地方，那你就是我的僕貓了！」，可冬聽了小絲的話很開心的當了小絲的僕貓。

感想：

讀完這本書後，我覺得一個人的外表是不重要的，看起來可愛或不可愛一點兒都沒關係，最重要的是一個人的內在。對人很親切實在，和別人一起玩的時候開開心心，人最重要的是這個。所以自己覺得長得不好看，也不用傷心，只要有一顆善良的心，並且保持好的涵養就足夠了。

小五　吉田晴秋

書名：三字經　孟母教子

作者：王艷娥

出版社：風車圖書出版有限公司

出版日期：2013年9月

大意：

寒假中我讀了三字經裡的孟母教子，大意是從前孟子的母親為了讓孟子有個好的學習環境，根據鄰居來慎選居住地，為此搬了三次家。小時候孟子逃學，孟母將織布機上織了一半的布剪斷，以此警戒教導孟子，學習不能半途而廢。

感想：

我覺得不管學習什麼事情，都要有耐心，盡心盡力，不能半途而廢，腳踏實地，才能成功。

小六　張 嘉 楠

書名：拉普拉斯的魔女
作者：東野圭吾
出版社：北京聯合出版公司
出版日期：2017 年 1 月
大意：

「我想摧毀以前，於是，這部作品就此誕生。」──東野圭吾，沒錯，這就是「拉普拉斯的魔女」為什麼會出現在書壇中原因之一。

有一位叫羽原圓華的女孩，在一場龍捲風中失去了她摯愛的母親，故事以此前傳延伸下文─武尾徹因為健康指數不太理想，所以警衛保全公司並沒和他續約，正當武尾徹發愁沒工作時，一通電話像及時雨一般打來。電話另一邊的桐宮玲想讓他護衛一個人。他到了指定地點後，要他護衛的人便是圓華，與其說是護衛，不如說是監視。

接著故事又跳轉到一場溫泉殺人案，雖人看像是意外，而中岡覺得不然，請到青江教授幫忙查案。幾天後，又一名死者出現在另一個溫泉村，故事就這樣不停縱橫交錯下去，直到那驚人事實被眾人發現。
感想：

讀完這本書後，我唯一感到的疑問就是：拉普拉斯到底是什麼？其次便是所有人物都被東野圭吾寫的栩栩如生，故事情節精湛，似乎有一種一直想讀下去的感覺。這本書顛覆了我們長久以來深信不疑的價值觀。「在這世上，沒有任何一個個體能獨自存在，而不具備任何意義。」

中一　傅　予

書名：別傻了，這才是大阪
作者：都會生活研究專案「大阪團體」
出版社：遠足文化
大意：

從食衣住行、交通、街道、育樂這些角度調查，研究大阪的潛規則生活習慣，以及大阪各地區的特性。書中分交通、購物、食物、街道、人際關係、生活百匯等六篇列出 50 條潛規則。例如：潛規則 4 ：開車遇到黃燈就用力踩油門。潛規則 6 ：遇到紅燈就要小心地過馬路。潛規則 10 ：在日本橋買東西，殺價是基本常識。潛規則 11 ：殺價買到後，通常會得意地炫耀「你覺得這東西多少錢？」。潛規則 13 ：身穿印有豹頭或虎頭的衣服，或者穿戴閃亮亮的單品。潛規則 16 ：烤章魚燒是種涵養。潛規則 17 ：很講究烏龍麵的高湯。潛規則 29 ：搭乘電扶梯時靠左站的肯定是外地人。潛規則 31 ：被人問路時不知道也要說個方向 。潛規則 39 ：可從對方的關西腔大致判讀對方的居住區域。

潛規則 49：排斥與東京相關的事物。

在食物篇裡就會提到章魚燒，或便宜而大碗的拉麵，還有就是大阪府內有各式各樣的美食街。因為大阪人對食物的份量、味道、服務都很挑剔，所以有很多潛規則。而在生活方面則有排斥和東京相關的事物，因為大阪是自由的商業社會，人們對於掌有權力的人物都心存抵抗。大阪人認為「權力」的代表莫過於東京，正確來說，大阪人討厭「東京第一名」的概念。

作者認為大阪人更應該熟讀本書，若本書能讓大阪人重新體認「大阪的 DNA」，今後徹底排除那些橫行的東京元素，走上專屬自己的道路，那真是開心不過的事了！

感想：

我在閱讀此書時，三不五時就會笑出來。例如：有許多大阪人並不想向東京看齊，或是個性有趣幽默之類的，實在令我深有同感。

生活在大阪比東京開心，因為他們不像冷酷的東京人會翻白眼。像是我上次在通天閣迷路時，我找了一位親切的老奶奶問路，結果她不但跟我說道路如何走，還熱心地帶我去目的地，這讓我真的感受到大阪人的溫暖及熱情。

看完後，我好像又更了解大阪了呢！但如果是道地的大阪人來讀這本書，可能會立刻吐槽此書的每項潛規則，而大聲的說：「哪有這種規則啊！」畢竟是自我主張超級強的大阪人啊！

中二　尹　人

從很久以前，我就聽說過一本書叫做「笑傲江湖」。我一直在納悶：怎得笑？怎得傲？當時，我也聽說書中有一人叫做令狐沖，我也一直在想他到底是一位怎樣的人？是風流倜儻？還是呆若木雞？可是我萬萬不能把他與「笑傲」二字連在一起。

如今，我方能一睹這本不能不被稱作鴻篇巨製的風采。笑傲江湖乍聽之下，便是一本武俠小說，然而其中包羅萬象，說是功夫，其實更是一本以政治為主題的作品。

比如，嵩山派左冷禪為了吞併江湖，設計出許多詭計，而被少林寺方丈沖虛道長識破，卻只能暗自扶持。左冷禪又暗中騷動別派人物，誓將五岳派組成，表面上仁慈和藹，背地裡卻是口蜜腹劍、笑裡藏刀。

而更加令人所憤怒的卻是令狐沖的恩師岳不群，雖有「君子」的名譽，可著實為一個不折不扣的真小人。他為了辟邪劍法，先暗中出手故意就下其傳人林平之，到手之後卻栽贓給令狐沖。練成劍法後，又若無其事，暗自屠殺的弟子，又將假劍法傳於敵手，並最後將五岳派掌門收穫。僅僅為了如此，卻害其妻女，又故意不知道裝做徒弟的細作，實為道貌岸然，又利用令狐沖的感情來自由擺布。

當然其中我也見到了真性情，令狐沖在會見了獨孤九劍之後，不再狂妄自大，真心不得罪師傅、師娘。卻又為了任盈盈，公然站在正派的對立面。同時為打抱不平而結拜的兄弟，至死也不離開，真夠得上義氣二字。所謂善有善報，與任盈盈終成眷屬，共奏笑傲江湖之曲。

不得不說書中的採花大盜田伯光，似是真小人，卻比偽君子強上千萬倍。首先因人仗義，而屢屢不殺，又因人豪氣，而放棄本來的目的，終於最後棄暗投明，剃度為僧，法名「不可不戒」。

書中場面之大，既有五岳劍派、少林和武當，也有各路豪傑，更有日月神教、東方不敗等人物。

我想社會是如此複雜，有些表面上的不一定是真的，也不一定是假的，也正因如此萬萬不可單方面地去猜疑別人，難道生活中如此多的冤怨不是如此來的嗎？如果每個人勾心鬥角，那生活並無絲毫樂趣可言，只有真心待人，拋開雜念，才可配上「笑傲」二字。

歸根究底，還是害人之心不可有，防人之心不可無！

……

＜読書感想文＞

へんくつさんのお茶会を読んで　　小三　吉田彩夏

わたしは、「へんくつさんのお茶会」というお話を読みました。この本を読んだきっかけは、題名の「へんくつ」という言葉をはじめて聞いて、きょう味を持ったからです。

いちばん心にのこったのは、サルのへんくつさんが、山の動物たちに、人間のへんくつさんを手伝ってほしいとたのむ場面です。それまでは、なかまなんていらないと言っていたへんくつさんが、

「はじめての友だちなんだよ。どうか手伝ってあげておくれ。」

と言います。わたしは、むねがいっぱいになりました。サルのへんくつさんが、人間のへんくつさんのことを、とても大切にしていると感じたからです。わたしだったら、おねがいするゆう気が出ず、言いだせないかもしれません。

わたしは、このお話を読んで、サルのへんくつさんのように、大切な人のために何かできる人になりたいと思います。

おばけのおつかいを読ん　　小三　黄得媛

私は「おばけのおつかい」という本を読みました。この本を読んだきっかけは、本屋さんで探していた時に、題名と絵を見て面白そうだと思ったからです。

一番心にのこったのは、おばけの大好物はくものすで、おばけ家族全員がくものすを取りに行く場面です。おばけのお母さんがいろんなくものすの料理を作れる事も面白いと思います。おばけのお姉ちゃんと弟は、二人で親戚へお使いに行きました。その途中で道を間違ったときに知らないおばけに出あって、怖かったです。

私はこの本を読んでおつかいは面白い事だと思います。これからは、自分も母のおつかいをやっていきたいと思います。そのために、スーパーマーケットで買い物もしていきたいです。

「伝記を読もう ～ 荻野吟子 ～」　　小四　　朱詠瞳

荻野吟子（本名：ぎん）は、日本最初の女性医師である。１８５１年、吟子は当時の俵瀬(たわらせ)村で生まれる。１６歳の時、吟子は稲村貫一郎と結婚したが、夫から淋病をうつされて、３年後、離婚をする。上京し、吟子は入院して婦人科治療を受けるが、治療は当時すべて男性の医者が担当した。男性の医者に下半身を見られるというとてもいやな体験から、女医になって、同じはずかしい思いをして苦しむ女性を助けるために、女医を志す。

１８７３年、吟子は女医になるために、お母さんの支えのもと、上京し塾に通いました。そして一年後、吟子は現、お茶の水女子大学の一期生として入学。吟子が医者になりたい事を明かすと、みんなは吟子をばかにしていたが、学校の教授は吟子を信じ、吟子は医学校に特別入学を許される。しかし、当時、女医なんてありえない事だったので、吟子は男装し、いじめを受けながらも、優秀な成績で修了した。

吟子は医術開業試験願いを何度も提出したが、日本に女医が一人もおらず、前例がないことにより、受け入れてもらえなかった。吟子は何とか前例（試験は受けなかったが、女医だった楠本イネ）を見つけ、合格できた。

そして、診療所を開き、吟子は日本で有名になった。そして、吟子は再婚し、夫と一緒に北海道で密林と原野を開拓して、理想郷を造ろうと試みたが、すべて失敗に終わってしまった。その後、吟子はキリスト教信者になり、廃娼運動に積極的に取り組んだ。

＜感　想＞　吟子はとっても素晴らしいと思いました。あの頃、男性は女性の着物をさわることさえ、女性は恥を感じるのに、診察台の上にいる患者の局部を診察するのは男性医師だし、その周りには１０人もの男性の医者が見ている。そんなこと、今するととんでもなくひどい話だ。吟子の時代は、男尊女卑がとてもひどかった時でした。もはや女医の道なんて、誰も考えていない時代でした。それでも吟子は女医を志し、医術開業試験は男性しか受けられないのに、よくしんぼう強く国に訴えたのがすごいと思いました。

当時、女性が試験を受けるなんて、絶対と言っていいくらい無理なことです。今では当たり前のことが、昔はバカにされていたのです。もし私だったら、きっと、「試験を受けられないなら、あきらめる。」と思い、勝手に無免許で診療所を開き、試験を女性が受けられるようにすることに、何もかかわらなかったでしょう。

自分が嫌なことがあれば、世界を変えればいい。ゆうかいされたくないなら、世界を無犯罪の世界に変えればいい。あなた一人の力で、世界を変えられる。出来なくてもいいが、とにかくやってみればいい。失敗しても成功しても、損はしないのだから。この世界は一人一人の力が合わさり、みんなで出来ている。一人が変われば、きっとこの世界も変えられるだろう。

天下統一せよ豊臣秀吉を読んで　　小五　薗田一輝

まずしい家に生まれた秀吉は、お母さんに楽をさせたい、この一心で十四才の時に、出世をちかって旅に出ました。そして持ち前の機転で、いくさ上手で知られた若き日の織田信長に仕えることがかないます。

僕はこの本を読んで秀吉がどれだけまじめにあたえられた仕事をして信長に貢献して、身分の低い足軽から大将に出世したことをとてもそんけいしています。

人間はあきらめずに、努力すればむくわれると言うことを学びました。

本能寺の変で信長が討ちとられた後、その長い間望みがかなって、今は主君の信長に代わって、日本一の力強い大名になったのです。

その後、秀吉はほとんどの国を統一して、天下統一をなしとげました。

秀吉は最初とても身分の低い足軽でしたが、持ち前の頭脳で信長に貢献して、信長にその実力をみとめられ、めきめきと出世して大将になり、大名になりました。

僕も秀吉のように、努力して人にみとめてもらえるようになりたいと思いました。

「学年ビリのギャルが、一年で偏差値４０上げて
慶応大学に現役入学した話」　小六　　金　天

お嬢様学校に通っている学年ビリ、偏差値３０以下のギャルが、日本最難関の私立大学の一つ、慶応義塾大学へ現役での合格を目指して、青峰塾に入って坪田先生と一緒に勉強し始めました。初めの頃、さやかちゃんは学力テストの成績から見て、学力は小学校４年生の学力でした。東西南北も知らず、聖徳太子（しょうとくたいし）の事を、「せいとく　たこ」と読んでいました。が、彼女は一生懸命頑張りました。何故なら、あの「クソジジイ」（さやかのお父さん）に頑張れば出来ると言うことを証明するために。

さやかのお父さんは、さやかとさやかの妹をほっといて、さやかの弟だけを立派なプロ野球選手にするために育てていた。さやかはいつもお父さんのことを「クソジジイ」と呼んでいますが、実はさやかちゃんはお父さんのことが大好きです。

そして、さやかちゃんはいよいよ慶応義塾大学文学部の入学試験に行きました。だが、試験前に坪田先生からもらった「合格コーヒー」を一気に飲んだせいかもしれないが、試験中お腹が痛くなってきてトイレに何度も足を運んだ。結局、得意な文学部の試験は受けられなかった。仕方なく、過去問の出来が最悪だった「総合政策学部」の受験をやるしかなかった。かくして、さやかちゃんの一年半の闘いは幕を閉じました。

そして、いよいよ合格発表です。さやかちゃんは規定の時刻に、指定されたホームページへアクセスし、パソコンでぽちぽちとマウスでクリックすると、画面に表示されたのは・・「おめでとうございます！」という文字でした。

＜感　想＞　私はこの本を読んで、さやかさんがすごいと思いました。一つは高校二年生なのに、よく東西南北も知らず、聖徳太子を「せいとく　たこ」と読むなんてすごすぎる。

もう一つは、たった、わずか一年半の時間で、学力を小学校４年生から高校３年生まで上げたその努力と集中力、それはめちゃくちゃすごいと思いました。

坪田先生に対しては、私は尊敬の気持ちしかございません。学生といろんな話をし、一緒に勉強し、学生を目標の学校へ導く力が本当に素晴らしいと思いました。

私が最も印象に残り、はっきりと覚えている言葉は「ダメな人間などいないのです。ただ、ダメな指導者がいるだけなのです。」と。私は、これはとてもいい言葉だと思います。だけど、いくら指導者が優れていても、相手が学びたくないなら仕方がありません。

私は最初、さやかちゃんのお父さんはすごくひどい人だと思いました。だって、自分の子どもが一生懸命頑張っているのだから、親として子どもを応援すべきだと思います。応援しなくても、「お前には、無理だ。」という言い方はひどいと思います。だけど、その後、お父さんもさやかさんの頑張りを認めて応援し始めたので、私も、さやかさんのお父さんのことを好きになりました。私はこの本を読んで、一番わかったことは・・・「人は努力したら、必ずいい結果をもたらす。」ということです。私も、自分の目標に向かって、あきらめずに頑張りたいと思います。

読書感想文　　中二　岡田　佳

今回紹介するのは「阪急電車　青春物語」作橋本雅夫。作者は元阪急に勤めていて、宝塚歌劇団にも出向した方だ。筆者が勤めていた頃の体験と、阪急電鉄の歴史が当時の写真とともに紹介されている。

この本自体は１９９６年に出版されたもので、もう２０年あまり経つため、現在走っている９０００系や１０００系などの新型車両はまだ紹介されてない。その反面、今は亡き６３００系特急が現役の頃なので、当時の阪急の姿がよくわかる。

僕は最初、この青春物語は筆者が阪急で過ごした青春時代の話かと思っていたのだが、もちろんそれもあるが、これは、阪急電車の青春時代。箕面有馬電気軌道、阪神急行電鉄、京阪神急行電鉄から、現在の阪急電鉄に至る阪急の歴史でもある。

僕は鉄道が好きだが。その中でも阪急と他の私鉄が好きだ。しかし、好きといっても、そこまで詳しい訳ではない。だから、こういう本にはとても興味がある。詳しくないといっても、全く鉄道に興味がない人に比べたら、明らかによく知っていることになるだろうが。

筆者は終戦の年に京阪神急行に入社したとのこと。しかし、７０年も昔に鉄道の高架線といったものがあるというのには驚いた。一度当時の鉄道を見に行ってみたい気分だ。

やはり長年阪急に勤めていた人だからこそわかる社内の様子や、当時の阪急電車についてよく知ることができた。これからもっともっといろんな知識を身につけて、もっと阪急を好きになって、将来阪急に入社するのが僕の夢だ。

幼稚班丹羽伊澄同學參加校外繪圖比賽獲獎，特此表揚。

## 映画を見た。

小二　湯　悠

地球がほろびる映画を見た。
たたかう人たちが
うちゅうせんにのって、うちゅうに行った。
うちゅうせんにのった人たちは、
ぎんがをはなれて、ほかのほしへ行った。
地球をほろぼそうとした人たちが、
うちゅうせんにのっている人たちをこうげきした。
さいごに、
うちゅう人たちは地球をたすけたが、
人が、いっぱいしんだ。
映画を見て、
せんそうは、すごく、
おこったらだめなことだと、
わかった。

## 今年の抱負

中二　江鎮宇

去年、２０１７年はとても充実した１年でしたが、いくつか悔しいと思うことがあります。例えば、去年の６月にあった運動会の時のことです。ぼくは、個人の競争で決勝に入りました。けれど、ぼくは２周目を走るとき、カーブのところでスピードを落としてしまい、結果は４位になってしまったのです。家に帰った後、ぼくは思いました。なぜあのとき全力で走らなかったのだろう、なぜスピードを落としてしまったのかと。しかし、そのときぼくは思い出しました。まだ来年がある、今年の後悔は来年補えばいいと。それで、ぼくには新たな希望が出ました。

運動会の他にも、１２月にあった学芸会でも、悔しかったところがありました。クラスは学芸会で劇とダンスを披露するので、ぼくはちゃんと練習しようと思っていましたが、何日経っても、面倒くさがって練習をしませんでした。だから、本番のとき、ぼくは完璧に表現するのができなかったのです。このことは、今でも、とてもはっきりと覚えています。

だから、今年２０１８年の抱負は、去年の後悔を忘れずに、チャレンジしていないものなど、今までできなかったものも、すべてできるようになることです。去年よりも充実する１年になるよう今まで以上に頑張っていきたいと思います。